

# 平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年 2月10日

上場会社名 **株式会社 音通**

（コード番号：7647大証第2部）

（URL <http://www.ontsu.co.jp>）

問合せ先 責任者役職 代表取締役副社長

TEL:(072)696 9100

氏名 仲川 進

## 1 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）

棚卸資産は帳簿棚卸により計上しており、棚卸減耗費は過去の実績に基づく比率により見積計上しております。

その他影響額の僅少なものについては一部簡便な手続を行っております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

（内容）

連結子会社（新規）4社

持分法適用関連会社（新規）1社

## 2 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	千円 %	千円 %	千円 %	千円 %
18年3月期第3四半期	19,299,521	379,221	280,370	149,535
17年3月期第3四半期				
(参考)17年3月期				

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	1 81	1 70
17年3月期第3四半期		
(参考)17年3月期		

(注)平成18年3月期より連結財務諸表を作成しておりますので、平成17年3月期第3四半期の数値、対前年四半期増減率及び、(参考)17年3月期の数値については記載しておりません。

### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のわが国を取巻く経済は、原油高騰等で原材料値上等のマイナス要因が懸念されるものの、企業の収益回復、雇用状況の回復、個人消費の回復が見られ、景気は緩やかに回復傾向にある一方、消費者のニーズの多様化、業界の競争激化により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下で、当社グループは徹底した効率経営に務め、第3四半期の連結売上高は、19,299,521千円、営業利益379,221千円、経常利益280,370千円、純利益149,535千円と順調に推移しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
18年3月期第3四半期	千万円 13,938,743	千万円 1,988,277	% 14.3	円 銭 22 41
17年3月期第3四半期				
(参考)17年3月期				

(注)平成18年3月期より連結財務諸表を作成しておりますので、平成17年3月期第3四半期の数値、対前年四半期増減率及び、(参考)17年3月期の数値については記載しておりません。

(参考)平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	百万円 12,142	百万円 125	百万円 70
通期	26,329	379	201

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)2円44銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年11月28日の平成18年3月期中間決算発表時の「通期の見通し」において、当会計期間における業績予想は、前決算発表時(平成17年5月23日)のとおり推移していると発表いたしました。その後の月次決算の推移と業績の動向を踏まえて、平成17年12月22日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたしました。

なお、通期の業績につきましては、F事業部門の新規店舗出店時期の若干の遅れなどにより、売上高は微減となっておりますが、平成17年6月の営業譲受店舗の業績への貢献やコスト削減の効果により、経常利益及び当期純利益においては増加するものと予想しております。

業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手した情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想と異なる場合があります。

## 四半期財務諸表

### 1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円、端数切捨て、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		参考
	平成18年3月期 第3四半期末	平成17年3月期 第3四半期末	金 額	増減比	平成17年3月期 金 額
(資産の部)					
・流動資産					
1.現金及び預金	3,298,347				
2.受取手形及び売掛金	1,584,440				
3.棚卸資産	1,230,774				
4.繰延税金資産	24,825				
5.その他	904,170				
6.貸倒引当金	5,756				
流動資産合計	7,036,802				
・固定資産					
1.有形固定資産					
(1)貸貸用資産	706,537				
(2)建物及び構築物	1,435,747				
(3)土地	836,523				
(4)その他	224,147				
有形固定資産合計	3,202,956				
2.無形固定資産	185,076				
3.投資その他の資産					
(1)建設協力金	1,011,479				
(2)差入保証金	2,096,402				
(3)繰延税金資産	26,038				
(4)その他	383,335				
(5)貸倒引当金	21,920				
投資その他の資産合計	3,495,334				
固定資産合計	6,883,367				
・繰延資産	18,573				
資 産 合 計	13,938,743				

(注)平成18年3月期より連結財務諸表を作成しておりますので、平成17年3月期第3四半期の数値、対前年四半期増減及び、(参考)17年3月期の数値については記載しておりません。

(単位：千円、端数切捨て)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		参考
	平成18年3月期 第3四半期末	平成17年3月期 第3四半期末	金 額	増減比	平成17年3月期 金 額
(負債の部)					
・流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	2,808,895				
2. 短期借入金	885,000				
3. 一年内償還予定の社債	120,000				
4. 一年内返済予定の長期借入金	1,486,226				
5. 一年内支払予定の長期割賦未払金	262,217				
6. 未払法人税等	97,500				
7. 賞与引当金	4,461				
8. その他	457,592				
流動負債合計	6,121,894				
・固定負債					
1. 社債	1,760,000				
2. 長期借入金	3,671,486				
3. 長期割賦未払金	191,836				
4. 退職給付引当金	40,557				
5. 繰延税金負債	438				
6. その他	164,252				
固定負債合計	5,828,572				
負債合計	11,950,466				
(資本の部)					
・資本金	688,030				
・資本剰余金	827,494				
・利益剰余金	479,510				
・其他有価証券 評価差額金	4,328				
・自己株式	2,430				
資本合計	1,988,277				
負債及び資本合計	13,938,743				

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円、端数切捨て)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		参考
	平成18年3月期 第3四半期	平成17年3月期 第3四半期	金 額	増減比	平成17年3月期 金 額
. 売上高	19,299,521				
. 売上原価	15,492,529				
売上総利益	3,806,991				
. 販売費及び一般管理費	3,427,770				
営業利益	379,221				
. 営業外収益	32,814				
. 営業外費用	131,665				
経常利益	280,370				
. 特別損失	2,394				
税引前四半期(当期) 純利益	277,976				
法人税、住民税及び 事業税	138,377				
法人税等調整額	9,936				
四半期(当期)純利益	149,535				
前期繰越利益	355,769				
中間配当額	34,108				
四半期(当期)未処分 利益	471,196				

(注)平成18年3月期より連結財務諸表を作成しておりますので、平成17年3月期第3四半期の数値、対前年四半期増減及び、(参考)17年3月期の数値については記載していません。